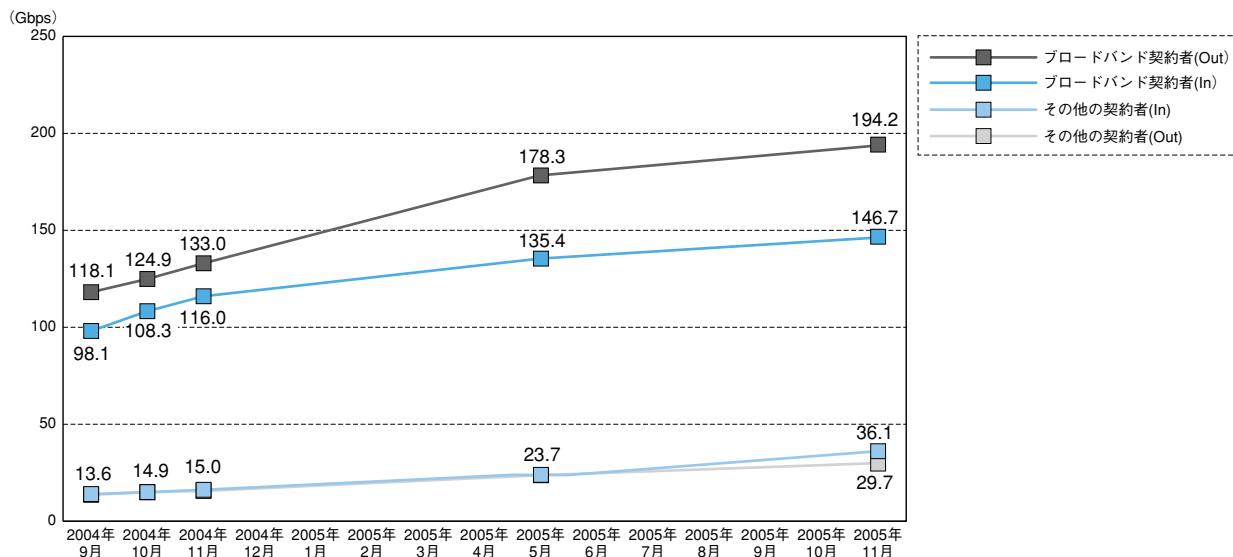


国内トラフィック

ブロードバンド契約者のトラフィックの伸びは鈍化傾向

資料8-2-1 ブロードバンド契約者別トラフィックの推移

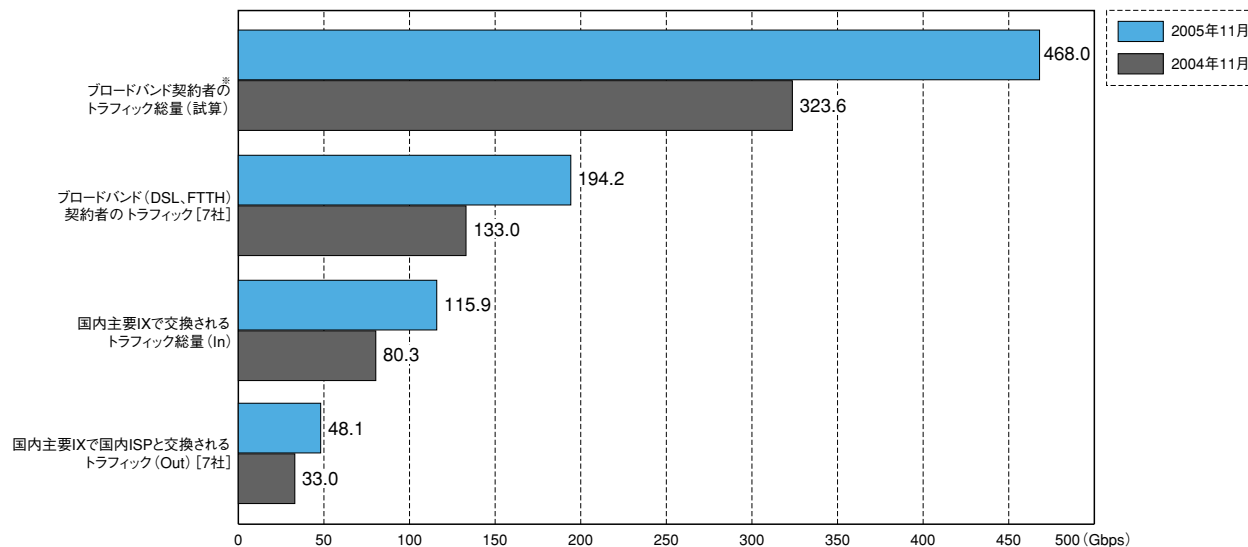


出所 総務省

DSLとFTTHを利用しているブロードバンド契約者のトラフィックの伸びは、個人普及も一段落したということか、2004年からは鈍化傾向だが、In（アップロード）も146.7Gbpsと、Out（ダウンロード）の194.2Gbpsとの差はそれほど大きくない。一般利用者がダウンロード中心ではなくなっている。

1秒当たり468ギガビットの情報が流れる国内トラフィック

資料8-2-2 ブロードバンド契約者のトラフィック総量の推移



*国内主要IX（インターネットエクスチェンジ）と協力ISP7社の交換トラフィックから、総務省試算（推計） 出所 総務省

国内ブロードバンド契約者の1か月当たりのトラフィック総量は、2004年11月の323.6Gbpsから2005年11月では468.0Gbpsと、1年間で約1.5倍に増加しており、国内主要IX（JPIX、JPNAP、NSPIX）で交換されるトラフィックの伸び（80.3Gbpsから115.9Gbpsに増加）率をわずかに上回る。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp